

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 中国フジパン		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 710-0016 岡山県倉敷市中庄 3185	
本票作成	部署名：工務課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	創業：昭和38年 従業員：約400名 フジパンブランドのパン、和菓子を製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	株式会社中国フジパン 本社工場		岡山県倉敷市中庄 3185	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和3)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	11,655 t CO <sub>2</sub>	12,113 t CO <sub>2</sub>	11,070 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和3)年度排出量
	①	株式会社中国フジパン 本社工場	12,113 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(3)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 6.0 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製品の主原料である小麦粉の使用量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		17.030 t CO <sub>2</sub> /(千袋)	18.052 t CO <sub>2</sub> /(千袋)	16.179 t CO <sub>2</sub> /(千袋)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和3年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

■ プラインチラーの更新、照明のLED化等の省エネ諸施策を行いエネルギー使用量の削減に努めたが、製造ラインの増設により電気使用量が増加した。  
 温室効果ガスの排出量の原単位当たりの排出量が増加している要因は、年度途中の電力購入先の変更による契約先の二酸化炭素温室効果ガス算定排出量の算定に用いた係数の影響によるものである。

**【推進体制】**

- 省エネ法に基づいたエネルギー管理体制のもとエネルギー使用状況の管理、設備更新時の省エネ機器の導入検討および日常業務における省エネ活動の推進。
- 定例の幹部会において、エネルギー管理企画推進員による月実績を報告し、情報の共有化、対策の実施を行っている。
- 小集団活動による、従業員の意識の向上。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
株式会社中国フジパン 本社工場	(令和3年度実施分) <ul style="list-style-type: none"><li>■ 照明 蛍光灯⇒LED交換</li><li>■ ブラインチラー更新</li><li>■ コンプレッサー更新(INV化)</li><li>■ 空調機の運転、温度管理の見直し</li></ul> (今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 蛍光灯からLEDへの照明更新</li><li>(2) チラー、空調設備の更新および最適運用化</li><li>(3) ポンプのインバーター化</li><li>(4) 受電設備における低損失変圧器への更新</li></ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--